

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

綾部市教育委員会

1 調査概要

- (1) 調査日 令和6年4月18日（木）
- (2) 調査対象 小学校6年生・中学校3年生
- (3) 調査事項 ① 児童生徒：教科調査（国語、算数・数学）／質問調査
② 学 校：質問調査
- (4) 調査問題 ・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されている。
・各大問において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージが発信されている。
- (5) 今年度の調査の特徴
・児童生徒質問調査について、全面的にオンラインによる回答方式での実施。
- (6) 集計対象 児童生徒数・学校数（公立）

	区 分	実施学校数	参加児童生徒数
小 学 校	全 国	18,529校	947,579人
	綾部市	10校	223人
中 学 校	全 国	9,347校	875,952人
	綾部市	6校	215人

2 教科調査の結果から

(1) 結果概要

小学校は、国語、算数とも、全国平均正答率（以下、「全国平均」という）を上回りました。
中学校は、国語、数学とも、全国平均正答率とほぼ同率でした。

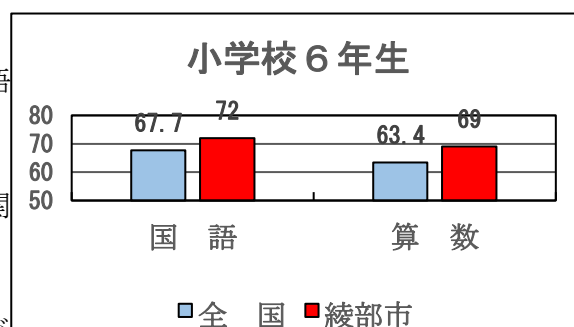
小 学 校 6 年 生		全 国	綾部市	中 学 校 3 年 生		全 国	綾部市
	国 語	67.7	72		国 語	58.1	58
	算 数	63.4	69		数 学	52.5	52

※ 市の平均正答率は、整数値のみで公表することとされています。

(2) 小学校

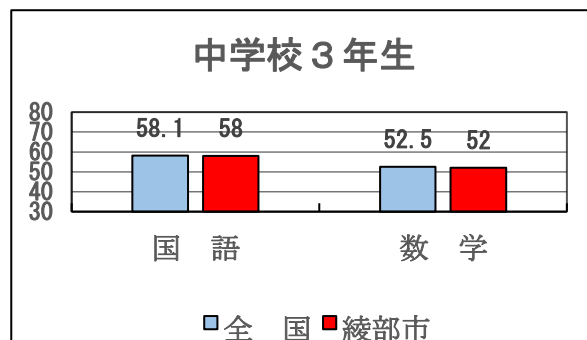
国語は、学習指導要領の内容では、全国平均を上回りました。全国平均を上回った主な問題は、「物語を読んで心に残ったところと、その理由をまとめて書く」「文中の主語と述語の関係を捉える」でした。全国平均を下回った主な問題は、「登場人物の相互関係や心情について描写を基に捉える」でした。

算数も、学習指導要領の内容では全国平均を上回りました。全国平均を上回った主な問題は、「除数が小数の場合の除法の計算」「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について」でした。全国平均を下回った主な問題は、「速さが一定であることを基に道のりと時間の関係について考察する」「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して分類整理する」でした。



(3) 中学校

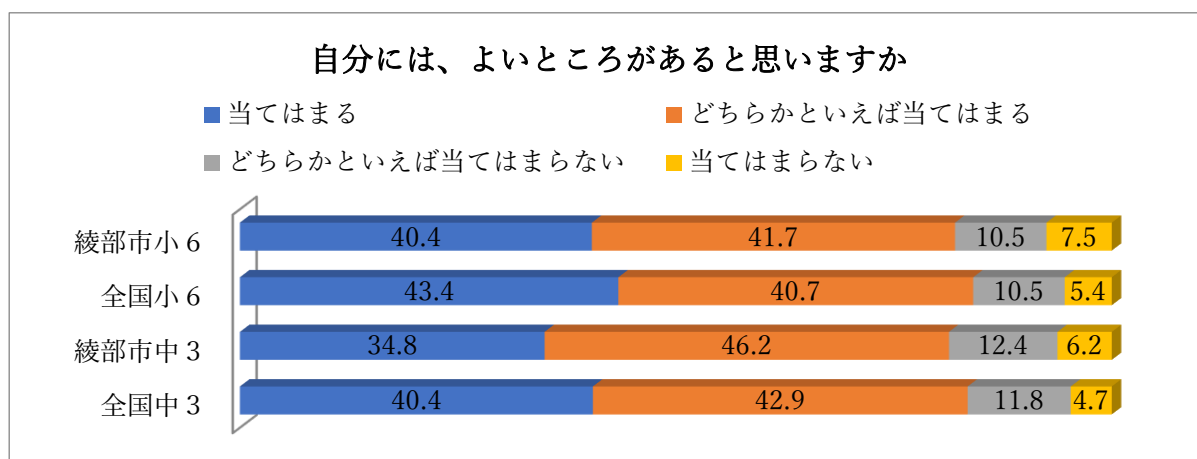
国語は、「読むこと」「書くこと」「我が国の言語文化」に関する内容は全国平均を上回り、その他の内容は全国平均を下回りました。全国平均を上回った主な問題は、「行書の特徴の理解」「文章において主張と例示との関係を捉える」でした。全国平均を下回った主な問題は、「文章において意見と根拠など情報と情報との関係についての理解」「文脈に即して漢字を正しく書く」でした。



数学は、「関数」「データの活用」に関する内容は全国平均を上回り、その他の内容は全国平均を下回りました。全国平均を上回った主な問題は、「複数の集団のデータの分布から四分位範囲を比較する」「与えられたデータから最頻値を求める」でした。全国平均を下回った主な問題は、「等式 $6x+2y=1$ を y について解く」「連続する二つの偶数を文字を用いた式で表す」でした。

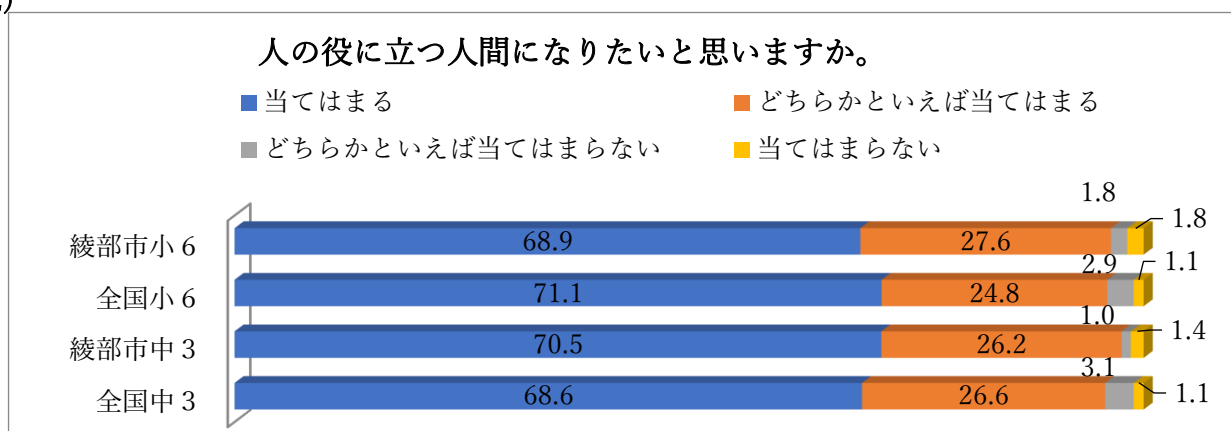
3 質問調査の結果から

(1)



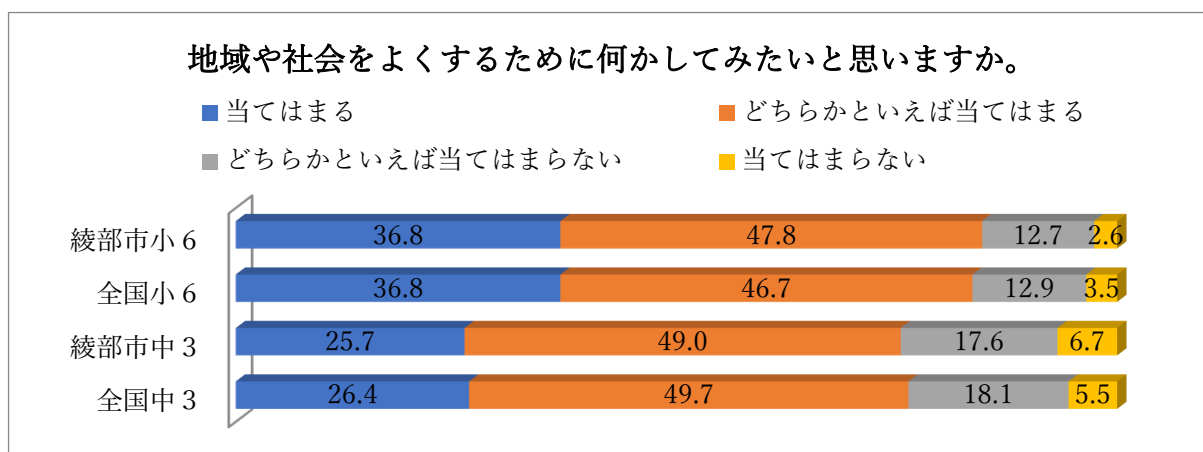
小学生、中学生ともに、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を下回っています。(小学生－2.0% 中学生－2.3%)

(2)



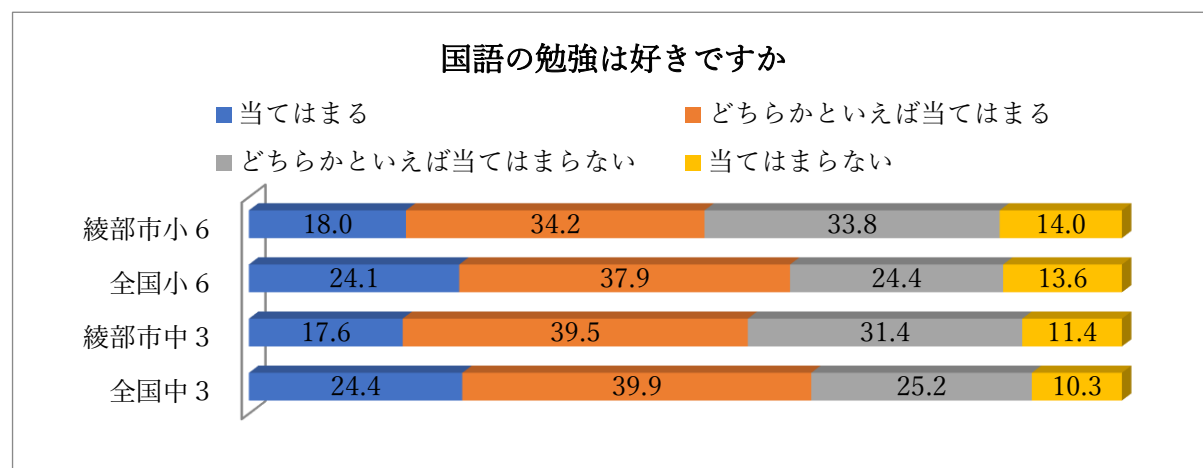
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合は、小学生、中学生ともに 90% を超え、全国値を上回っています。(小学生＋0.6% 中学生＋1.5%)

(3)



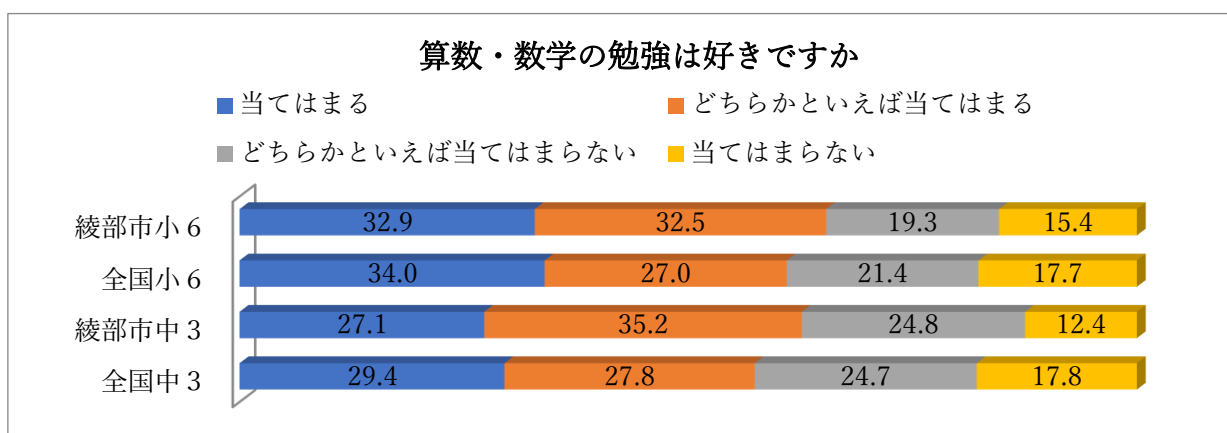
小学生は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を上回っています。中学生は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を下回っています。(小学生+1.1% 中学生-1.4%)

(4)



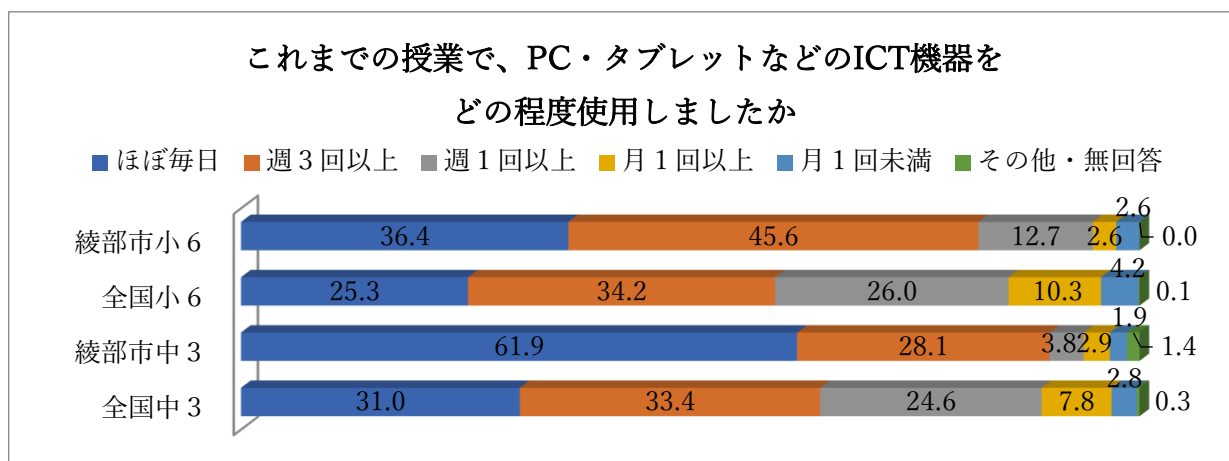
小学生、中学生ともに、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を下回っています。(小学生-9.8% 中学生-7.2%)

(5)



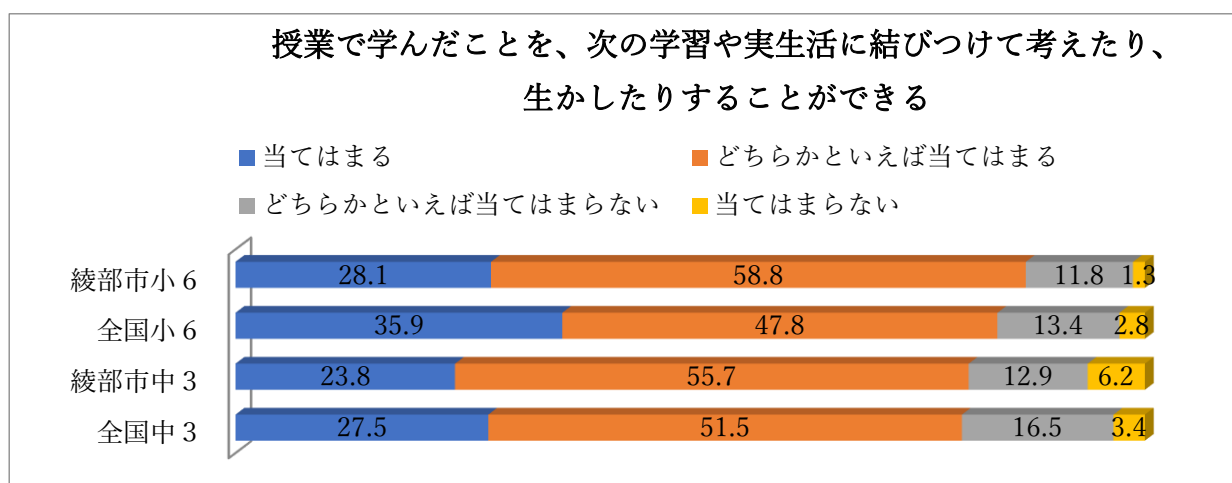
小学生、中学生ともに、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を上回っています。(小学生+4.4% 中学生+5.1%)

(6)



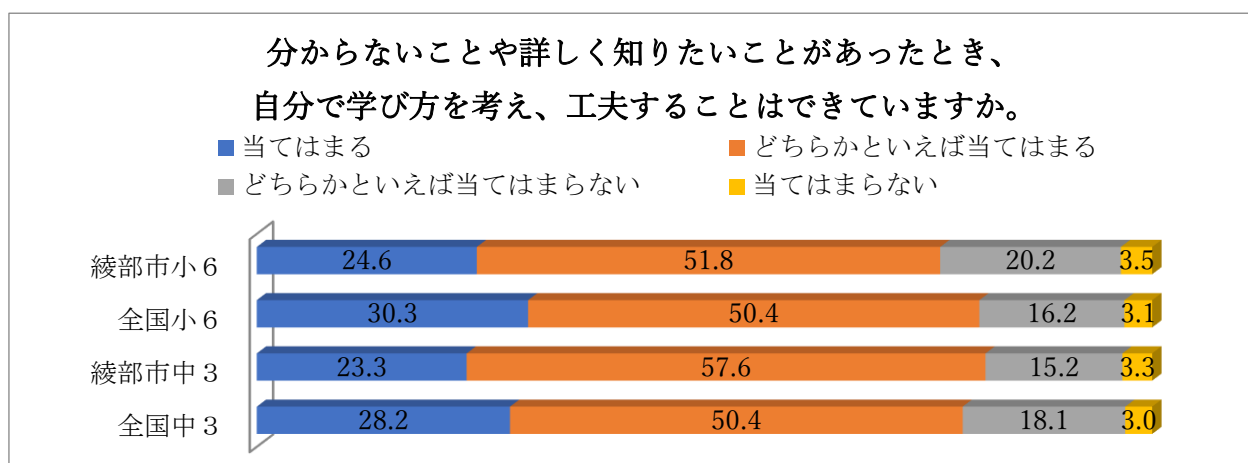
小学生、中学生ともに、「ほぼ毎日」の割合が全国値を上回っています。(小学生+11.1% 中学生+30.9%)

(7)



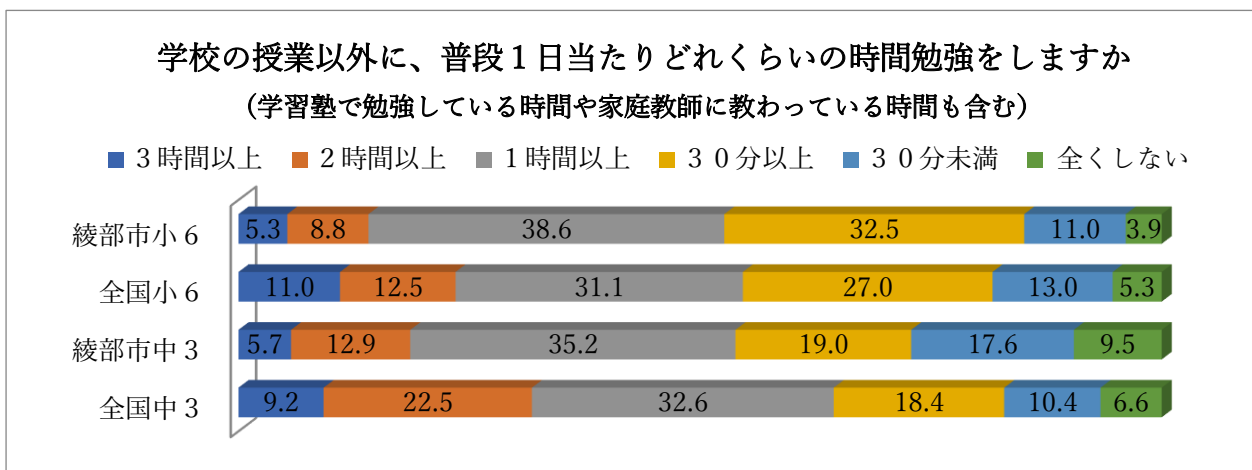
小学生、中学生ともに、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を上回っています。(小学生+3.2% 中学生+0.5%)

(8)



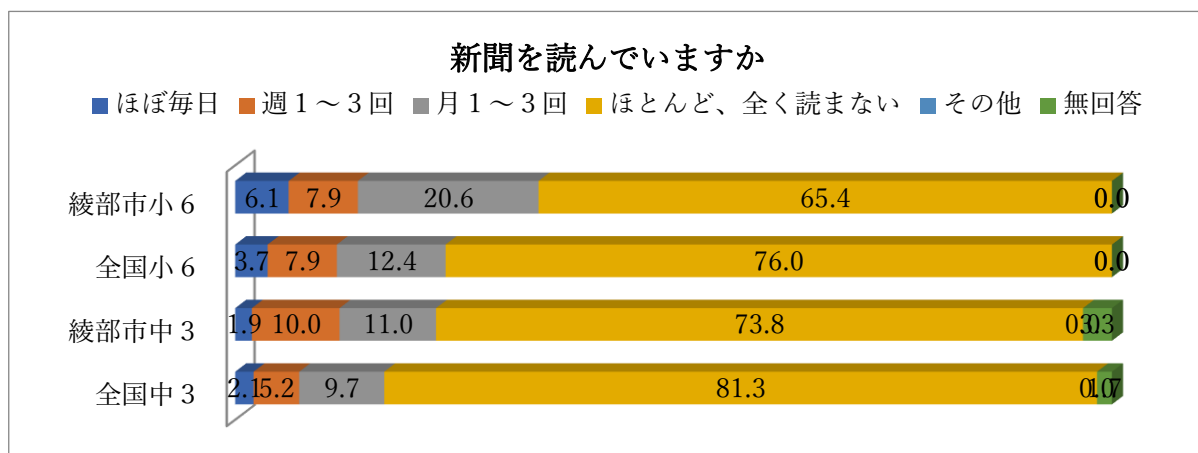
小学生は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を下回っています。中学生は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合が全国値を上回っています。(小学生-4.3% 中学生+2.3%)

(9)



小学生は、「30分未満」「全くしない」を合わせた割合は全国値を下回っています。また、「2時間以上」と「3時間以上」を合わせた割合は全国値を下回っています。中学生は、「30分未満」「全くしない」を合わせた割合は全国値を上回っています。また、「2時間以上」と「3時間以上」を合わせた割合は全国値を下回っています。

(10)



小学生、中学生ともに、「ほぼ毎日」「週1～3回」「月1～3回」を合わせた割合が全国値を上回っています。(小学生+10.6% 中学生+5.9%)

<結果より>

教科調査から十分な定着の見られた内容については、さらにその力を伸ばし、不十分な内容については、その力が定着するよう、「主体的・対話的で深い学び」を目指す「綾部市の『あい』のある学習」の視点からの授業改善や「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、子ども同士の関わり合いの中で子どもが主体的に学びあう授業づくりを、より一層進めます。

また、質問調査の結果から非認知能力に着目し、認知能力と一体的にはぐくむことを目指し、互いを認め合い高め合う「あい」のある教室づくり（学級経営）に、より一層取り組みます。

今後も、「あい紡ぎプラン（綾部市小中一貫教育基本構想）」に基づく一貫教育の中で、小学校と中学校の授業改善をつなぐとともに、児童生徒に「自ら学ぶ力」を身に付けさせることを目指した取組を進めていきます。